

今月の便り

エゾオヤマリンドウ

エゾオヤマリンドウ（蝦夷御山竜胆）は、北海道と山形県より以北に分布し主に亜高山～高山帯の湿った草地などに生育します。同じリンドウ科の花でエゾリンドウ（蝦夷竜胆）がありますが、エゾオヤマリンドウはエゾリンドウの高山種となります。エゾオヤマリンドウの草丈は20～40cmで直立し、低地に生育するエゾリンドウに比べて少し草丈が低くなります。花期は8～9月、莖頂や莖上部に数個の花を上向きに咲かせます。秋の訪れを知らせる花ですが、山では7月中旬頃から咲きだす個体もあるそうです。花はリンドウらしい濃青紫色で長さ3～5センチ。先端が浅く5裂していますが、他のリンドウ科の花のように目一杯花が開くわけではなく、開花時は先端部がほんの少しだけ開く程度でしかも晴れていないと開きません。そうやって雨や露から花粉を守っているのです。まれに白花も見られます。(いとう)

アジサイよもやま話（2）

アジサイは花言葉で「移り気、浮気」の象徴とされ、忌み嫌われる傾向がありました。しかし近年はお祝いのお場や花束の素材としても使われています。それは切り花として長持ちさせる様々な薬品、技術の進歩によるものと思います。清涼感のある青・紫・白系の花は、国内外問わず人気があります。また、亡くなった方に手向ける花でもあり、道内でもアジサイで有名なお寺があるので、是非訪ねてみてはいかがでしょうか。ところで土の酸性度(pH)によって花の色が変わる種類のアジサイがあり、一般に花の色は土壌が酸性ならば青、中性に傾くと赤になるといわれています。実際は酸性度そのものではなく、土に含まれているアルミニウムがイオンとして溶け出している量などが関係しています。アジサイはこのイオンを吸収し、花のアントシアニンと結合して青色になりますが、近年になって、細胞内でこのイオンを運ぶ遺伝子が見つかったそうです。この仕組みを他の植物に組み込むことによって、土の酸性度(pH)を気にせず様々な花木、野菜、花を栽培できる日がくるのかもしれないね。アジサイを通して長い歴史と技術の進歩を感じます。(かわはら)

カミキリ虫ってどんな虫？

近年庭のバラや樹木が弱って枯れたとの話を聞く事が多くなりました。長い触覚と強靱なアゴを持つ細長い甲虫(髪切り虫)名前の通り、髪もよく切ることができる虫です。コレクターがいる程甲虫の仲間では目立ち屋な害虫で駆除の対象になります。生態はカミキリムシはコウチュウ目、カミキリムシ科の甲虫世界でおおよそ37000種ほどと推定されているのも驚きです。日本だけでも800種ほど。光沢の有る黒い体に白い斑点模様のゴマダラカミキリムシは、別名「テッポウ虫」とも呼ばれます。幹に産み付けられた卵が庭木や果樹、バラの枝の幹の中を食害して脱出する際に穴を開けて植物を弱らせ枯らしてしまうのです。園芸害虫及び農業害虫なのです。卵が産み付けられた約1週間で孵化、幼虫は幹の中を食害しその穴から木屑やフンが出てくるので樹木など株元を確認すると分かります。幼虫は7月～翌4月、成虫は5～7月に発生しやすいです。(たかはし)

胡蝶蘭の根

胡蝶蘭の花は高貴で清楚な雰囲気を持っている姿から「幸福が飛んでくる」「純粋な愛」と言う花言葉があります。このようなことから贈答用に使われますが、花の育て方、管理の知識が全くない方が受け取ったら、花を楽しんでいると根元から白いものがニョロニョロと出てきてビックリ!!… 格好が悪いとハサミでカットしてしまいました。すると数日後、花がポロリと落下…葉はしんなりしてきました。胡蝶蘭の根は、土の外に伸びて空気中の水分を吸収しながら育ちます。伸びてきた根っこは見た目がよくないからと、切り取ってしまわないようにしましょう。また、根腐れには注意が必要です。お水はあげすぎないように気を付けてください。胡蝶蘭のお手入れは複雑な印象があるかもしれませんが、ポイントを押さえておけば気楽に生長を楽しむことができますよ。ご自宅の大切な胡蝶蘭、気負わずのんびりと育てていきましょうね。また、特に白い胡蝶蘭は「純粋」、ピンクの胡蝶蘭では「あなたを愛しています」という意味も持っています。豪華で開花したら長い間咲き続ける素敵な花です。
(ながやす)

国花

先日、日本に語学留学しているアジア系の皆さんが、バス旅行の途中バラ園に立ち寄られました。一人の若い男性の方がショップで桜の木はありますか？と日本語で聞いていました。留学して来て見た日本の桜の景色を気に入って木がほしいなと思ってくれたのでしょうか。そうであればなんだか嬉しいような気がします。桜は日本の国花です。桜を見る会なんてものが話題になっていましたが、私も子どもの頃から年に一回満開の桜を見ると理屈なくいつとき幸せな気分になってしまいます。国を象徴する花を日本だけではなく各国が定めているのは、それぞれの地域で植物とそこでの人の生活にある喜怒哀楽が、その時々で深く関わりあうからではないでしょうか。それを国という枠組の団結に政府が使っているわけです。それが良いのかどうかは別にして、国花として定められた植物を知ると、その地域の人がどんな気候風土で暮らしているのか想像できてちょっとワクワクします。気候変動が激しい昨今、どの地域もその土地に育つ植物と共に長く繁栄できる未来であればと願います。ちなみにバラを国家にしている国は 10 カ国以上、品種は様々です。バラは美しさの他にヒップや香料としての有用性もあって、各地の人々の生活に古くから根ざしているようです。

(きのした)

胡蝶蘭の根腐れを引き起こす原因

胡蝶蘭の根腐れの原因はいくつかありますが、一番大きな要因は酸素不足です。水遣りの頻度が高すぎると、土が水をためこみ酸素を取り込まなくなるので、呼吸困難を起こしてしまいます。水はけの悪い土を使って植えている場合も同じようなことが起こりますので、土の性質と水遣りの頻度に気を付けましょう。

根腐れを起こしてしまっても、芯の部分が元気なら回復は可能です。腐った部分をはさみで丁寧に切り取り、残った根の大きさに合わせた新しい鉢に植え替えましょう。

一般的な花や植物の根は、土の中や鉢であれば植え込み剤の中に伸びていくものですが、胡蝶蘭の場合は樹木や岩肌に絡ませて伸びていきます。このような植物を着生植物といいます。胡蝶蘭は着生植物の代表格ですが、この着生という特性は、胡蝶蘭を育てるうえで覚えておきたいポイントです。



ひとつき ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



第九十五回

フロリバンダローズ

ジークフリート

Siegfried

作出国：ドイツ

作出者：Kordes

作出年：2002年

ハーディネスゾーン：不明

繰り返し咲き

交配：異なる無名実生苗同士の交配

いよいよ秋バラの季節がやってきます。秋のバラは初夏のバラと比べて小ぶりですが形が美しく、色も香りも濃厚です。何より季節的に涼しくて過ごしやすいし、虫が少ないというのも良いところですね。皆様に見て頂きたいのはもちろんですが、一番花の季節に当園のバラをご覧になったことがある方には特に見て欲しいです。同じバラでもこんなに色や形が違うのか！と実感していただけたと思います。

今回は秋バラが特に美しい‘Siegfried’です。赤色のフロリバンダ系統なので中輪で房咲きとなります。赤色はどんな赤かというと、本当に「赤！」という感じの混じり気のないスッキリとした赤色をしています。でも一番花の時期はライトレッドに近い気もします。当園で言うと他に‘Sorrento’や‘Alec's Red’などもスッキリとした赤ですね。個人的に好きな赤です。秋バラの時期になると他のバラは少し黒みがかかって明度が暗くなることで色に深みが増すのですが、このバラは赤みが増し彩度が上がり発色が良くなることで色が濃くなります。しかも花付きが良く、耐病性もあり秋でも葉を落とすことなくもりもりとして、元気いっぱいな姿が目を楽しめます。この中からこんなに沢山の花びらが開くの？

と思うようなギュギュっとしたまんまるなつぼみも大変チャーミングです。一番花では分かりづらいクォーター咲きの形も、秋には形がよくなりますので確認できるようになります。夏バテせず二番花もそこそこ咲いてくれるので、照り葉が苦手であればご家庭のお庭におススメです。

この品種は当園ではおなじみ Kordes が 2002 年に作出し、2010 年にドイツのローゼンハイムで開催された園芸博で ‘Out of Rosenheim ®’ と命名されました。1987 年に公開されたドイツ映画『バグダッド・カフェ』の原題に由来します。中東のバグダッドではなくアメリカ西部・フロリダ州のバグダッドを舞台にした映画で、アメリカではテレビシリーズ化もされているようです。そして 2013 年に京成バラ園芸が ‘Siegfried’ として日本へ流通させました。ジークフリートはゲルマン神話に登場する戦士の名前に由来すると思われます。まつわる叙事詩に『ヴォルムスのバラ園』というお話があります。そこからバラ繋がりでお話したのでしょいか。ちなみにジークフリートさん、悪い竜を退治して返り血を浴び、身体の一部以外不死身になったそうです。もしかしたら、このバラの美しい赤は竜の血かもしれませぬ…

色かたち良く、濃厚な香りの秋バラをお楽しみください

いわみざわ ローズフェスタ2022

IWAMIZAWA Rose Festa

9/23 FRI ▶ 10/8 MON

秋

今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



- 9月23日(金・祝) 13:00~15:00 楽しいキノコの見分け方
料金:無料 定員:18名 講師:伊藤 幸秀さん 日本自然保護協会
- 9月24日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ⑥ 来年に向けての準備
料金:無料 定員:18名 講師:古舘 杏奈さん ローズグローブ
- 9月25日(日)・10月1日(土) 13:00~15:00
バラ管理スタッフのローズツアー・秋
料金:無料 定員:18名 講師:バラ園スタッフ
- 10月2日(日) 13:00~15:00 バラ園のバラを使ったアレンジメント
材料費:1,000円 定員:18名
講師:大和田 由紀子さん カンガルーファクトリー

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話:0126-25-6111 ホームページ:<http://www.iwamizawa-park.com/>

※材料費のかかる講座は、講師の方の準備等の都合上、開催日3~4日前までにお申込みをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

× マスクの着用がない方 × 37.0℃以上の熱がある方

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・連絡なしの欠席・遅刻はお申込みをしたい方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、定員制限などの関係から受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・密集を避ける為、各講座の定員につきましては予告なく変更する場合がございます。
- ・換気の為、窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しください。
- ・密接を避けるため、講座中の私語は謹んでいただきますようお願いいたします。